

県民公開講座「平成 24 年度感染症予防衛生講習会」を開催

平成 24 年 6 月 28 日（木）新潟市民プラザ（NEXT21 ビル 6 階）で新潟県、新潟市、（社）新潟県ペストコントロール協会、当獣医師会が共催で県民公開講座「平成 24 年度感染症予防衛生講習会」を開催し、県市町村、教育関係、事業者、一般県民など 150 名が受講しました。講習会は二部からなり、第一部は「東北大津波被災地でのハエ・蚊対策から学んだこと」と題して、（社）日本ペストコントロール協会副会長の平尾素一先生からご講演をいただき、漁網や漁具、停滞汚泥からのハエの発生や津波の浸水エリアでの蚊の発生が他地域に比べ有意に高いこと、放置瓦礫におけるドブネズミ生息状況などと、PCO の被災地での活動状況が報告されました。災害時には、地元市町村と PCO などの専門分野の関係者が連携・協力して、衛生害虫の発生原因調査とそれに対する適切な処理を行うことが衛生害虫防除対策として重要であるというお話をいただきました。

第二部は、「目で見える作戦で感染症を防ぐ」と題して、（社）新潟県環境衛生中央研究所理事の西川 眞先生（医学博士）からご講演をいただきました。ご講演は、ノロウイルスやインフルエンザなど感染症の実践的な予防対策について解説いただき、感染源となる「汚れ」が付着・拡散することにより感染が拡大すること、「汚れ」の付着・拡散防止をチェックする検証には、評価基準となる「ものさし」が必要であること、そして、清浄度を検証する方法として、各部の「汚れ」に差があるか無いかを問う 3 点比較法を紹介いただきました。感染症の予防には、手洗いなどの日常的に行われている衛生管理に加え、目で見える形で「汚れ」を定期的の確認・検証し汚染拡大を防止することが重要であるというお話をいただきました。

受講者からは、衛生害虫防除や感染症予防については、社会的にも注目されており、「有益なお話であった」、「知見を広めることができた」などの感想をいただき、次回の講習会にもぜひ参加したいという声が多く聞かれました。



受講風景



講演される（社）日本ペストコントロール協会
副会長 平尾素一先生